

女川町水産加工団地排水処理施設整備等事業

審査講評

平成 26 年 3 月 18 日

女川町水産加工団地排水処理施設整備等 P F I 事業者審査委員会

女川町水産加工団地排水処理施設整備等 P F I 事業者審査委員会(以下「審査委員会」という。)は、女川町水産加工団地排水処理施設整備等事業(以下「本事業」という。)に関して、事業者選定基準(平成 25 年 9 月 13 日公表)に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成 26 年 3 月 18 日

女川町水産加工団地排水処理施設整備等 P F I 事業者審査委員会
委員長 大村 達夫

目 次

第 1	審査委員会の構成.....	1
第 2	審査委員会の開催経過.....	1
第 3	優秀提案者選定の概要.....	1
1	優先交渉権者決定までの流れ.....	1
第 4	審査結果.....	3
1	資格審査の結果.....	3
2	基礎審査の結果.....	3
3	総合評価の結果.....	4
第 5	審査講評.....	8
1	提案内容に対する講評.....	8
2	総評.....	11

第1 審査委員会の構成

審査委員会の構成は、次の5名です（敬称略）。

委員長	大村 達夫	（東北大学未来科学技術共同研究センター教授）
副委員長	稲生 信男	（東洋大学国際地域学部教授）
委員	伊藤 茂喜	（宮城県東部下水道事務所所長）
委員	阿部 一正	（女川町副町長）
委員	東野 真人	（女川町副町長）

第2 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、次のとおりです。

回数	日程	主な議事
第1回	平成25年 8月23日	・募集要項（案）等について ・事業提案書等の審査基準について
第2回	12月24日	・事業提案書等の総合評価審査方法について ・事業提案書等の概要について ・事業提案書等の内容に関する審議について ・資格審査通過者とのヒアリングに向けた確認事項等について
第3回	平成26年 1月6日	・ヒアリング ・事業提案書の内容に関する審議について ・事業提案書の内容に関する評価の確定について ・優秀提案者及び次点提案者の選定

第3 優秀提案者選定の概要

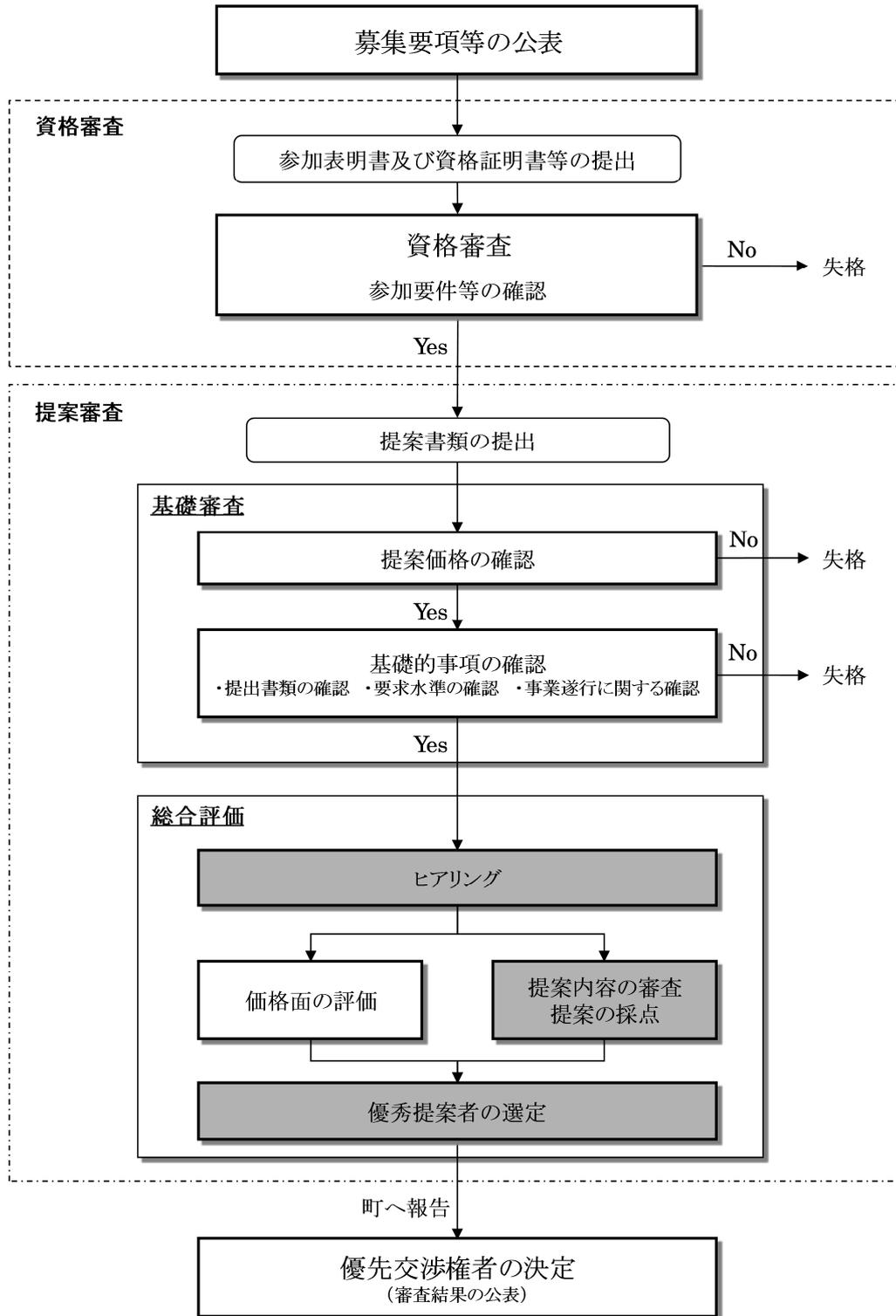
1 優先交渉権者決定までの流れ

優先交渉権者の決定は、図表1に示すとおり、資格審査と提案審査（基礎審査と総合評価で構成）により行います。

総合評価では、町が設置した審査委員会が、資格審査通過者から提出された提案内容の審査を行い、優秀提案者を決定します。

町は、審査委員会の審査結果を踏まえ、優秀提案者を、事業契約締結に向けて交渉を行う優先交渉権者として、決定します。

図表1 優先交渉権者決定までの流れ



※塗りつぶし部分が審査委員会の役割

第4 審査結果

1 資格審査の結果

平成25年10月11日までに、3グループから参加表明書及び資格審査書類の提出がありました。参加資格要件等の確認審査を行った結果、全てのグループが公募型プロポーザル参加資格を有することを確認し、その結果を平成25年10月18日付けで各グループへ通知しました。

受付番号	001	002	003
代表企業	・共和化工株式会社東北支店	・鹿島建設株式会社東北支店	・りんかい日産建設株式会社宮城営業所
構成員	・前田建設工業株式会社東北支店 ・三井共同建設コンサルタント株式会社東北支社	・メタウォーター株式会社東北営業部 ・森永エンジニアリング株式会社 ・田中建設株式会社 ・NEC キャピタルソリューション株式会社 ・福栄肥料株式会社 ・株式会社エステム	・アタカ大機株式会社東北支店 ・佐藤工業株式会社 ・株式会社ヒューエンス
協力会社	・高橋建設株式会社 ・東北共和メンテナンス株式会社	・東亜環境サービス株式会社	・大一電気システム株式会社 ・佐藤鉄工株式会社 ・株式会社石巻設計センター

2 基礎審査の結果

資格審査を通過したグループ（以下「資格審査通過者」という。）の全て（3グループ）から、平成25年12月3日に提案価格書及び事業提案書が提出されました。

（1） 提案価格の確認

資格審査通過者が提出した提案価格書を確認し、全てのグループとも上限額を超えていないことが確認されました。

（2） 基礎的事項の確認

資格審査通過者の事業提案書が、事業者選定基準に示した基礎的事項（提出書類、要求水準、事業遂行に関する事項）を充足していることを確認し、全てのグループとも要件に適合していることが確認されました。

3 総合評価の結果

(1) ヒアリングの実施

事業提案書の審査に当たり、提案内容の確認のために、各グループに対し、平成26年1月6日にヒアリングを実施しました。

(2) 提案内容の評価

ア 提案内容の採点基準

審査委員会は、事業者選定基準に基づき、提案内容の審査を行いました。

提案内容の審査については、各評価項目に対して次に示す4段階の基準により評価を行いました。

図表2 評価項目の採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	特に優れている	配点 × 1.00
B	優れている	配点 × 0.75
C	やや優れている	配点 × 0.50
D	要求水準を満たしている程度	配点 × 0.25

イ 提案内容の評価結果

提案内容の評価結果は、以下のとおりです。

評価項目	配点	001		002		003	
		評価	得点	評価	得点	評価	得点
事業計画に関する評価	35						
事業全体の実施方針、実施体制等	5	B	3.75	A	5.00	C	2.50
長期事業収支計画 (財務の健全性、安定性の確保)	10	B	7.50	A	10.00	C	5.00
使用料金	10	B	7.50	B	7.50	C	5.00
リスク管理方針、モニタリング	5	C	2.50	B	3.75	C	2.50
地域・社会への貢献	5	B	3.75	A	5.00	C	2.50
施設整備に関する評価	25						
施設の信頼性	10	C	5.00	B	7.50	C	5.00
施設の耐久性・環境保全性	10	C	5.00	B	7.50	C	5.00
施工計画	5	B	3.75	A	5.00	B	3.75
維持管理・運営に関する評価	20						
維持管理・運営	10	B	7.50	B	7.50	D	2.50
汚泥処理・活用	10	B	7.50	A	10.00	C	5.00
提案内容の評価点	80		53.75		68.75		38.75

(3) 提案価格の評価

ア 提案価格の評価方法

資格審査通過者の提案価格の評価点の算出に当たり、町は、評価上の提案価格の下限額を（以下「評価下限額」という。）を設け、評価下限額以下の価格提案を行った資格審査通過者は、一律満点（20点）を付与します。また、評価下限額より高い価格を提案した資格審査通過者の評価点は、評価下限額以下の価格を提案した者の有無によって次の場合に分けて算出します。評価点は、小数点第三位以下を四捨五入し、小数点第二位までの値とします。

[評価下限額以下の提案価格の資格審査通過者がいる場合]

評価下限額以下の提案価格の資格審査通過者に対し、満点（20点）を付与します。
他の資格審査通過者については、次の算定式で算出した点数を評価点として付与します。

$$\text{提案価格の評価点} = \text{配点 (20点)} \times \frac{\text{評価下限額}}{\text{提案価格}}$$

[評価下限額以下の提案価格の資格審査通過者がいない場合]

提案価格が最も低い資格審査通過者に対し、満点（20点）を付与します。
他の資格審査通過者については、次の算定式で算出した点数を評価点として付与します。

$$\text{提案価格の評価点} = \text{配点 (20点)} \times \frac{\text{最低の提案価格}}{\text{提案価格}}$$

イ 提案価格の評価結果

各グループの提案価格は、全て評価下限額（1,787,422,500円と設定。）を超えていたため、提案価格の最も低い「受付番号 001」に対し、満点（20点）とした上で、その提案価格を基準に「受付番号 002」、「受付番号 003」の価格点を算出しました。提案価格の評価は次のとおりです。

受付番号	001	002	003
提案価格（税抜）	1,858,000,000円	2,050,000,000円	2,043,140,000円
評価下限額との関係	評価下限額以上	評価下限額以上	評価下限額以上
提案価格の評価点 （配点：20点）	20.00	18.13	18.19

(4) 総合評価の評価点及び優秀提案者の選定

審査委員会において、提案内容の評価と提案価格の評価を合計して、総合評価点を算出しました。総合評価の結果は次のとおりです。

受付番号	001	002	003
提案内容の評価 (80 点満点)	53.75	68.75	38.75
提案価格の評価 (20 点満点)	20.00	18.13	18.19
総合評価	73.75	86.88	56.94

以上より、審査委員会は、事業者選定基準に基づき、総合評価で最も高い得点を得た受付番号 002 の鹿島建設株式会社東北支店を代表企業とするグループを優秀提案者として、2 番目に高い得点を得た受付番号 001 の共和化工株式会社東北支店を代表企業とするグループを次点提案者として選定しました。

第5 審査講評

1 提案内容に対する講評

各グループの提案内容については、評価項目毎に次のとおり評価されました。

(1) 事業計画に関する評価

評価項目	評価ポイント
事業全体の実施方針、実施体制等	<ul style="list-style-type: none">・受付番号 001 は、事業全般に対する理解がみられ、それら特性及び事情を踏まえた考え方が評価されました。・受付番号 002 は、本事業の趣旨をよく理解し、排水事業者の規模や事業態様にきめ細かく対応した提案が評価されました。また、PFI事業の豊富な実績に基づいた具体的かつ信頼性の高い事業計画であること及び役割分担が明確に区分されていること等が評価されました。・受付番号 003 は、地元企業の積極的な事業への参加があることが評価されました。
長期事業収支計画 (財務の健全性、安定性の確保)	<ul style="list-style-type: none">・受付番号 001 は、万が一の事態に対する考え方及び対策に関する提案が評価されました。また、事業収支の安定性に配慮された収支計画であることが評価されました。・受付番号 002 は、独立採算事業の特性を踏まえた、実効性及び信頼性の高い事業収支計画であることが評価されました。また、万が一の事態に対する考え方及び対策に関する提案が高く評価されました。さらに、PFI推進機構の関与の提案も事業計画の信頼性という観点から評価されました。
使用料金	<ul style="list-style-type: none">・受付番号 001 は、使用料金の仕組みがシンプルで相対的に安価であることが評価されました。・受付番号 002 は、排水事業者の多様性を踏まえた、実効性・妥当性のある使用料金の体系が評価されました。また、町の負担を極力軽減する最低補償の提案が評価されました。・受付番号 003 は、使用料金の仕組みがシンプルであることが評価されました。

評価項目	評価ポイント
リスク管理方針、 モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・受付番号 001 は、基礎的なリスク分析がなされていることについて評価されました。また、セルフモニタリングの枠組み及び町との連携のあり方が評価されました。 ・受付番号 002 は、詳細なリスク抽出と、リスク要因に応じたリスク処理が行われていること、将来生じうるリスクを正確に捉え、適切に保険の付保などの対応策を講じていることが評価されました。また、独立採算型の特性を踏まえ、セルフモニタリング（特に財務面）を重視した提案が評価されました。 ・受付番号 003 は、女川町での事業経験に基づいた上で、リスクを整理・分析していることについて評価されました。
地域・社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、地元企業をできる限り活用していることについて評価されました。 ・受付番号 001 及び 002 は、地域貢献を定量化し、より具体化した提案であることが評価されました。 ・さらに、受付番号 002 は、実効性の高い貢献方策について提案されていることが評価されました。

(2) 施設整備に関する評価

評価項目	評価ポイント
施設の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、自らの経験を踏まえ、水質・水量の変化等不測の事態への対応がなされていることが評価されました。 ・受付番号 001 は、具体的な地震・津波対策に係る提案が評価されました。 ・受付番号 002 は、故障時の対応等が十分に想定されており、安定稼働が期待できること、稼働実績に基づいた具体的な施設計画に係る提案が評価されました。
施設の耐久性・ 環境保全性	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、設備に関し、耐久性向上に向けた具体的な工夫があることが評価されました。 ・受付番号 001 及び 002 は、省エネ等環境に配慮した取り組みがあることが評価され、特に受付番号 002 については、その具体性のある提案内容が評価されました。

評価項目	評価ポイント
施工計画	<ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、設計・施工の各段階が明確に整理されており、厳しい工期設定にもかかわらず、実現性が見込まれる体制及び適切なスケジュールであることが評価されました。 受付番号 002 については、現場の状況や施設計画上の配慮など、工期短縮に係る独自に工夫された提案がなされ、その結果として排水の受け入れ時期が早まる提案が評価されました。

(3) 維持管理・運営に関する評価

評価項目	評価ポイント
維持管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 001 は、維持管理状況の見える化等、排水事業者への配慮がなされていることが評価されました。また、水質を遵守するため具体的な工夫の提案、維持管理・運営体制の実効性及び災害時における対応方針や業務継続のための工夫について評価されました。 受付番号 002 は、管渠等の調査、清掃、修繕の頻度が同種の事業実績に基づき、定量化されていることが評価されました。また、維持管理状況の見える化等、排水事業者への配慮がなされていることが評価されました。さらに、料金徴収に関し、その手法、管理体制ともに排水事業者の立場を尊重し、十分に考えられていることが評価されました。 受付番号 003 は、見える化等、排水事業者への配慮がなされていること及び具体的な検針方法が評価されました。
汚泥処理・活用	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号 001 は、引き取り先から関心表明書を入手し、汚泥活用に係る信頼性及び実現性を確保していることが評価されました。 受付番号 002 は、構成員としての参画や関係企業からの関心表明書入手により、汚泥処理又は活用に係る計画の信頼性及び実現性を確保していることが評価されました。さらに、緊急時、災害時における汚泥処理先の確保も高く評価されました。 受付番号 003 は、汚泥発生量が少ないことに伴う汚泥処理に係る負担が小さいことが評価されました。

2 総評

本事業は、東日本大震災の被災地における復興事業として初めてのPFI事業であり、また、独立採算型による排水処理事業です。提案に当たっては、処理方法の選定、使用料金の設定、汚泥の処理・活用方法等、応募者の裁量に委ねる部分が多くあるため、本事業の特性を十分に理解した上で、民間事業者の経験・ノウハウを活かした提案が期待されました。

今回、事業提案書を提出された3グループから排水処理の実績・経験に基づいたノウハウを活用した素晴らしい提案がありました。被災地の迅速な復興という町の目的を理解し、厳しいスケジュールの中で、熱意のある質の高い事業提案書の提出をいただいた各グループには、改めて厚くお礼を申し上げる次第です。

各グループともに、適切な排水処理という観点からは、要求水準を上回る提案でしたが、中でも事業計画、施設整備、維持管理・運営の各項目でバランス良く優れた提案がされていた、「受付番号 002」の鹿島建設株式会社東北支店を代表企業とするグループを優秀提案者として選定しました。

優秀提案者の提案は、豊富なPFI事業の実績に基づき、本事業の特徴を踏まえた具体的な事業提案がなされている点で、他のグループに比べ、より具体的な検討により、事業期間を通して安定した事業遂行が期待できることが、他のグループとの評価の差につながりました。

具体的に事業計画については、本事業が独立採算型であることを踏まえた、精緻な事業計画を策定しており、また、金融機関からの借入れがほとんど生じない中で、独自にセルフモニタリングの仕組みを構築されていました。施設整備については、経験に基づく細かな工夫が具体的に示されている点が評価されました。維持管理・運營業務については、近隣地域における同種業務の実績を基に、管渠の維持管理について具体的な提案があり、また、料金徴収、汚泥処理・活用についても多様なケースを想定した上で、20年間にわたる事業を見通した実効性及び信頼性の高い提案でした。

なお、選定された鹿島建設グループにおいては、円滑な事業実施に向け、今後、町と具体的な協議を重ね、新たなパートナーシップのもと、本事業の目的が達成されることを期待します。

また、提案審査において、以下の点の実現に向けたより具体的な検討、取り組み等を今後期待します。

- (1) 豊富な実績に基づいた信頼性・実効性の高い事業計画について、事業期間にわたり安定的に事業遂行できるよう、より具体的な検証及び実現に向けた積極的な取り組みを期待します。
- (2) 使用料金については、排水事業者に対してその仕組みについて十分に説明し、理解が得られるよう努めることを期待します。
- (3) 限られた期間内に排水処理施設の早期供用開始が実現出来るよう、グループ内の企業と協力・連携して取り組まれることを期待します。
- (4) 地域・社会への貢献について、評価した提案の実現を期待します。

最後に、水産業は町にとって基幹産業であり、本事業はそれを下支えするインフラとなりま

す。優秀提案者には、排水処理施設を適切に運営することは当然のこととし、さらに一步踏み込んだ形で町及び排水事業者と協力・連携して、水産業の復興、女川町の復興、ひいては被災地全体の復興に可能な限り貢献できるよう、積極的な姿勢で事業に取り組まれることを期待します。

以上